

# ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 6 月 23 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

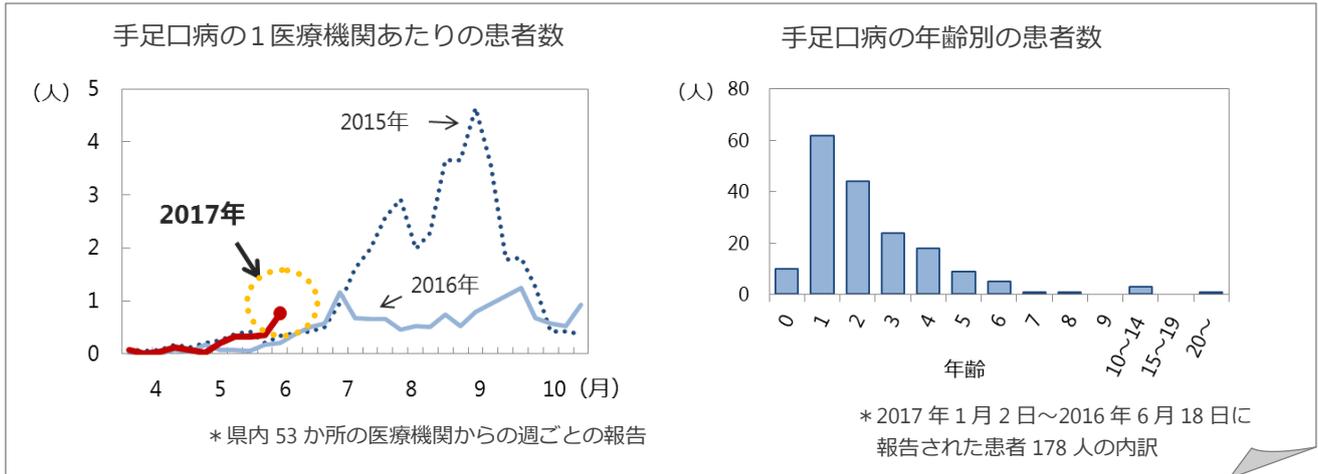


## 夏に流行する手足口病に注意しましょう！

手足口病は子どもの夏かぜの一つです。

年によって流行の大きさは異なりますが、例年 7～9 月の間に患者数が増加します。

6 月に入り、県内でも徐々に患者が増加していますので、夏に向けて注意が必要です。



### どんな病気？

コクサッキーウイルス A16 やエンテロウイルス 71 など、腸管で増えるエンテロウイルスに分類されるいくつかのウイルスが原因となります。

感染してから 3～5 日後に、**手のひら、足の裏や甲、口の中などに小さな水疱（水ぶくれ）**が現れます。

また、**軽い発熱**がみられることもあります。

通常は 3～7 日ほどで治りますが、まれに髄膜炎を伴うことがあります。

6 歳以下で多くかかり、中でも 1 歳のお子さんに多いです。



### どうやってうつるの？ 予防方法は？

感染した人の鼻水や唾液、便の中に含まれるウイルスが、手指を介した**接触感染**や、咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**によって、鼻や口に運ばれることで感染します。

予防には、**石けんを使った手洗い**が大切です。

とくに便の中へのウイルス排せつは、症状が治まった後も 2～4 週間と長く続き、周囲の人への感染源となるので注意が必要です。

トイレの後の手洗いはとくに大切です。  
お子さんのおむつの取扱いにも気をつけましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

